

【めむろ未来ミーティング日程 9】

令和5年1月13日（金）

10:00～11:00

美生コミュニティセンター

（対象：美生地区）

■参加者 11人

■芽室町 町長、副町長、教育長、環境土木課長、
農林課長、政策推進課長補佐

■記録 今森

■対応・検討が必要な事項

①道路の名称変更について（環境土木課）

- 1 開会
- 2 副町長挨拶
- 3 町からの説明事項

資料1 公共施設等再配置構想

資料2 まちなか再生の取り組み

資料3 マイナンバーカード臨時窓口

資料4 芽室町 LINE 公式アカウント説明書

4 意見交換

【質問】

マイナンバーカードについて。現在、どのくらいの人が登録されているのか。

【町長】

いま現在、全国の交付率が57.1%。芽室町が52.9%。まだ交付していないが申請済みの方を含めると約60%となっている。十勝管内では池田町が一番伸びていて66%くらい。全道規模で見ると、十勝管内全体が低い傾向にある。

国の方でもマイナンバーカード交付率を地方交付税の額に反映させる方針を打ち出すなど、積極的な取得をすすめる動きがある。

取得は個人の自由であり強制するものではないが、今後は各種手続きでマイナンバーカードが使えるようになっていく見通しである。最終的には持っているメリットが大きくなるとされるため、できる方には早めの取得をお願いしたい。

【質問】

マイナポイントについての質問。先月マイナポイントを取得したが、施設に入所している両親は手続きができていない状態である。携帯電話の解約も身分証明書となるものを2種類用意しなくてはならないなど、大変だった。委任状を書いてもらうにしても、感染症対策で施設には出入りが難しく、また本人も字が書ける状態ではない。

また、公立病院ではマイナンバーカードを保険証として使えるようになる予定はあるのかお聞きしたい。

【副町長】

申請自体は本人でなくとも、写真など必要なものが揃えば代理申請が可能。受け取りも同様に代理で受領できるようになっている。代行の相談も窓口で行っているの、まずはご相談いただきたい。

また、公立病院は既に端末を設置しているため、保険証の代わりとして使用できる状態である。

【町長】

広報11月号で載せさせていただいたが、町内で健康保険証処理できる施設が芽室病院、藤村歯科、松井歯科、だいいち歯科、中島薬局芽室店、正木薬局めむろ一丁目店。今後さらに広がっていくと思われる。例えば医療費控除の場合は今まで領収証から書き起こしや入力し直していた作業がカードで手続き可能になるなどメリットがある。

■すまいる 11 月号の段階

- ・公立芽室病院
- ・松井歯科医院
- ・藤村歯科・矯正歯科医院
- ・めむろだいいち歯科クリニック
- ・ナカジマ薬局めむろ店
- ・正木薬局めむろ一店

■1 月 8 日段階の追加

- ・はまだ内科医院
- ・いしがき歯科クリニック
- ・つがやす薬局芽室店



※厚生労働省ホームページで随時公開(QR 参照)

【質問】

新嵐山について。改革の中で、レストランの中でバーベキューができなくなってしまった。天気の良いときは外でもいいが、なぜ中でやることを中止したのか。もう一つ、地域の者でパークゴルフをやった後に昼食をとるときに、以前は中広間が空いていれば無料で借りることができた。今は部屋代がかかるようになり、これが高額に感じる。ちょっと1時間半くらい食事をとりながら休憩するのに部屋代がかかるというのは、今後見直していただきたい。

【副町長】

レストランでのバーベキュー中止については、コロナ禍のなかで人が密集することができなくなったのが始まり。したがって、外のバーベキューでも元々のような大人数ではなく、小さな島に分けてやっていただいている現状がある。改革の中であのようななったというより、コロナ禍が原因。コロナ禍が収束し、以前のような使い方ができるようなタイミングについては状況を見ながら判断していきたい。

中広間・大広間については、今までそういった運用の仕方をしてきた事実はあると認識している。一方

で会社の経営自体を本当の民営企業と同じように経営すべきとの声もいただき、そこで純然たる民間の考え方にシフトしたという経緯がある。もともと中広間・大広間には使用料金が設定されていたが、現場の判断でお金を取る・取らないの判断をしていた。今は使用する場合は一律で料金をご負担いただくよう整理させていただいている。

自分ごと化会議の中でもそもそも新嵐山自体を将来どうするのか、今のまま保たすのか、新しいものを建て直すのか。宿泊も現在のニーズに合っているのか、昔のように浴衣を着てお膳を出して宴会というスタイルについても、復活を期して用意するのかどうか含め議論の最中である。方向性が出たなかで町としてどうするのか、整理していきたい。

【質問】

少子化対策について。各町村さまざまな施策を行っているが、芽室町としては現状何をやっていて、これから何をやっていくのかお聞きしたい。

【町長】

芽室町の少子化対策はどちらかといえばお金で直接支援するのではなく、保育環境の充実に重点をおいている。例えば待機児童ゼロ、放課後の子ども達の居場所などを整備してきた。おかげ様で子育てに優しい町との評価をいただいている。

最近の国の流れとしては妊娠・出産それぞれ5万円の支給であったり、岸田総理大臣が6月の骨太方針で異次元の子育て支援策を打つ旨を表明している。私どもとしては全くやる気がないということではなく、国や道がどういった施策をしていて、それに対し町として補完的な取り組みができないか考えたい。また、年代が少し違うが医療費の無料化について。私の一期目がスタートした時に中学生の医療費を無料化した。これを高校生まで拡大しようと考えている。十勝管内で1万、2万人規模でこれを行っているところはほぼないので、そういった意味では先駆的な取り組みになると思う。

他にも様々な施策はあるが、人口減少対策ということで出産や子育てに対し、一度しっかり考え直さなければならぬと考えている。昔は産科・小児科が

セットであり、今も小児科はあるが医療の面で非常に安心感があった。ご承知のとおり産科・小児科の先生も退職されている。復活してほしいとの声もあるが、産科医は非常に少なく、これを町として独自に復活させていくのは現状として難しい状態。私の子ども達のときは3歳や6歳までの医療費が無料であったが、今は中学生・高校生・20歳までという自治体もある。そういう意味では各自治体とも競争ではないが、頑張っている感じはある。

【質問】

町村によっては子持ちの世帯が入ってくると祝い金を支給しているところもあると聞いている。ただ、財政の絡みもあり、難しいところもあると理解している。

【副町長】

芽室町でも、町外から引っ越してきて家を建てる場合は30万円、中古で買う場合には25万円を助成している。

少子化については、先日二十歳を祝う会をおこなったが、案内対象が約200人だった。一方、去年芽室で産まれた子は100人くらいで、半分になっている。

現在小学校は芽室小・芽室西小・芽室南小・上美生小の4校ある。芽室町は来年から30人学級になる予定だが、100人では4クラスで足りることになってしまう。通学区域含め、バランスも考えていかなければならないと考えている。

【町長】

音更町や大樹町は人口が増えたという話がある。芽室町も増えてはいないが、管内としては減少率が低い部類ではある。どうしても自然減、亡くなる方のほうが社会増、転入よりも多い状態。

街中では住宅やアパートが新築され、新たに区画を提供すると多数応募をいただいている。今でいえば、芽室公園の西側などは転入者が多い。こういったタイミングで何らかの施策を打っていくことは必要だと思う。

【質問】

今年度から、畑作4品のうち小麦、大豆、ビートのゲタが下がる。1000円くらい下がるので困ったなと思っていたら国の方から麦大豆国産化に向けての事業があり、最大で反あたり1万円くらい貰えるとのこと。町としてはそれに取り組んでいく予定か。

【農林課長】

本日、農業者の皆さんにFAXで案内する予定。取り組む・取り組まないの判断は農業者の皆さんの判断なので、我々としてはまずこういった事業がある旨の周知をさせていただきたい。これについては農協とも何度か話し合いをおこなっており、まずは周知し、取り組みたい農業者の方には農協の農産部、町でも相談をお受けする予定。

今回の事業はかなりポイントを取るのが難しい内容となっている。北海道や国からは、予算が限られている中でそれ以上の応募が想定され、その場合はポイントの高いところから順に採択され、低いところは機械的に切られると聞いている。

最初は芽室町農協を実施主体として全域で取り組みうという話もしていたが、薄まってしまいポイントが下がる。それでは採択されない可能性が出てくるため、取り組みたいという農業者の方が集まって、よりポイントを取れる形にした中でできないかということで、本日案内させていただいている。もし詳しい内容を聞きたいという方は農協・役場にご相談いただければ。

【町長】

これまでも様々な補助事業があったが、最近は国も何を目指し、どうしていきたいのか分かりかねる部分もある。机上で施策を考えている方には輪作のイメージも無かったりする。

芽室町には2万町しかなく、4輪作のバランスが崩れていくのではと心配している。もともと麦も過作状態で、連作すると連作障害の可能性が高まる。土壌の関係でいえばやはりビートなども大事。これは砂糖の原料という意味でも大事だが、ご存じの通り

55万トンというのも出てきており、減産になってきている。本当にこういう形で4輪作プラス野菜という形で上手く回るのか、それに追い打ちをかけるように肥料や農薬が高騰しており、非常に先行きが不透明で不安に感じている。

余談だが、ビート工場のある所で協議会を作っており、そこで農水省と協議の場を設けたいと考えている。ビート減産の話は前からあり、結果的にこのような形になってしまった。それを今さら覆すわけにはいかないが、では今後どうするのか、道東地区の輪作についてどう考えているのか、国の考えを聞きたい。こういった声を上げるのは十勝・オホーツクくらいしかない。そこはしっかり協議していく。その上で上手く補助など使い、経営を安定させていきたい。

【質問】

ふるさと納税について。潤っている自治体もあると思うが、逆に町民が他の自治体にふるさと納税をして、トータルの税収が減っているところもあると聞いている。芽室町の場合はプラスの収支なのか。

【町長】

差し引きマイナスではない。税収でいえば、去年が1億円。私も公約の中でふるさと納税3倍というものも挙げさせていただいているが、今この状況でいけば今年度は2億5000万くらいまで上がる見通し。要因として、ひとつはサイトの登録を増やしたこと。また、PR専門の民間の事業者を活用したところ右肩上がりになった。返礼品の数も増えており、サイトの窓口も多いため税収が増えている。おかげ様で11月の楽天ふるさと納税の野菜部門で全国1位を獲得した。これは来年のスイートコーンの先食いだ、農協に協力いただき販売した。評判も良く、12月だけで1億2000万円ほどの売り上げがあった。これから税収を伸ばし、町の様々な財源のためにストックしていきながら、皆さんに還元することを考えたい。まずはもう少し期間をかけて収入を増やしていきたい。

【質問】

役場や消防の中で、住民票の情報の取り扱いはどのようなになっているのか。以前、119番通報した。その際、名前と住所を聞かれ「その住所にあなたの名前は載っていない」と言われた。今まで何度か消防署員が来て私の存在を知っているはずなのに、なぜなのか。

【副町長】

消防はかつて芽室町の直営だったが、現在は十勝広域となっている。そのため、どこからかけても全て帯広の指令室に繋がり、そこでどのような状態か確認され、そこから芽室の消防署に出動指令が行く。指令室で十勝管内全域を対応しているが、地図データのベースとなるのはゼンリン地図である。手元のものは2020年版で、理由は分かりかねるが、質問者の方の住宅は名前が入っていない状態。そこで名前が入っていないという話になったのではないかと。名前が入っていないから通報先に出動しないということではなく、通報元も住所に間違いがないよう、確認の意味で照会があったと考えられる。

以前に直接お伺いした消防署員は芽室消防の署員であり、今回お聞きした件は広域の指令室が対応したため、質問者の方のことを存じなかった。地図はゼンリン社が1軒ずつ回って作っており、住民票とはリンクしていない。

【質問】

緊急通報の際、独居世帯で動けなくなった当事者の場合はどうしたらよいのか。

【副町長】

町では119番通報すらできなくなった状態のときのために、緊急通報システムといってボタンを押せば連絡が行くものをお貸ししている。利用には登録いただく必要はある。

【質問】

東京に住んでいた私の母が、ベッドと壁の間に挟ま

り動けなくなった。そういった通報システムも使えない状況になったとき、GPS などを利用し何時間も動かなければ自動通報される仕組みはないか。

【副町長】

現在のシステムでは、ボタンを押さなければ通報はできない。今後は質問者の方が仰ったようなケースに対応するシステムが出てくると思う。認知症による徘徊も想定されるため、GPS の利用は増えてくるのではないかと。



11:10 終了

MMM 後の提出意見

①「美生6号（美生道路から美生橋まで）の道路の名称を、伏古5号道路から美生6号道路に改名してほしい。」

同内容を、平成30年6月12日付けの美生地域振興会の要望として町に提出した際は、次のとおり町から回答があった。

「町道の名称変更については、路線変更等があった際には名称変更を行うこともありますが、通常名称のみの変更は、地域住民以外の方への影響もあることから現状難しいことをご理解願います。」

現段階での町の考えは？